

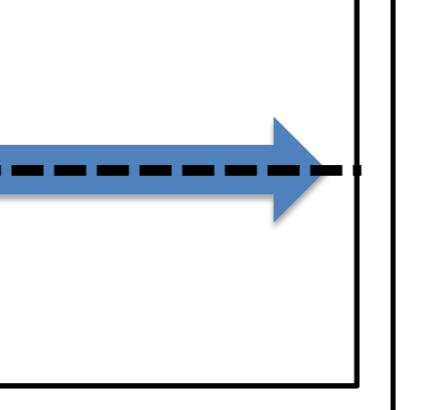
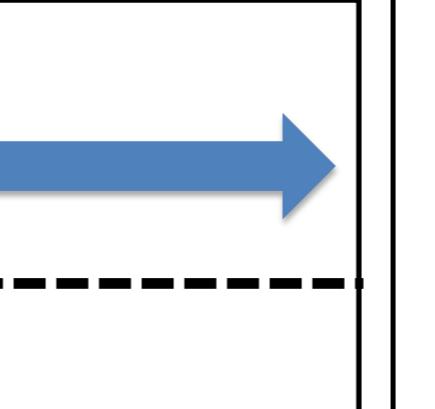
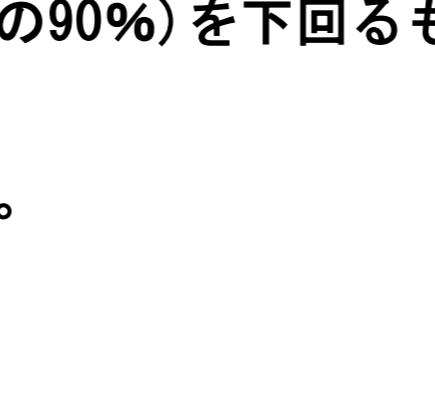
野菜の需給・価格動向レポート(平成29年1月16日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報				1月 指定野菜の 関東・近畿 ブロック別平均販売 価額	1月上旬の 指定野菜の 関東・近畿 ブロックの 入荷量 () 内は、本 年と過去3ヵ年 平均値との比率 上旬	主産地	生育及び価格の1月下旬までの見通し					
	(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格		中旬 下旬					「図の見方」					
	指定野菜の 関東・近畿 ブロック別平均販売 価額	保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	中旬	下旬				現時点の価格水準	今後の価格水準				
葉茎菜類	キャベツ	72.93	102 (140%)	104 (143%)	96.86	99 (102%)	・5,247t (93%)	愛知(62), 千葉 (17)	平均価格	愛知産は、天候に恵まれ気温も高めであったため生育は順調で、玉肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、12月以降の天候に恵まれ肥大も良好であることから、年末年始の需要を見越して現在平年よりやや多めの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。			
		76.91	101 (131%)	101 (131%)	92.10	99 (107%)	・1,680t (77%)	愛知(41), 兵庫 (12), 大阪(10)	平均価格	愛知産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。			
	たまねぎ	83.77	66 (79%)	66 (79%)	83.77	76 (91%)	・2,831t (88%)	北海道(90)	平均価格	北海道産は、貯蔵物からの出荷となっており、作柄は良く、順調な出荷となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。			
		83.77	70 (84%)	70 (84%)	83.77	74 (88%)	・1,410t (113%)	北海道(70), 兵庫 (28)	平均価格	北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	240.04	279 (116%)	294 (122%)	252.99	347 (137%)	・1,317t (82%)	千葉(33), 埼玉 (24), 群馬(15), 茨 城(15)	平均価格	千葉産は、9月の天候不順や11月の気温の低下の影響による生育遅れ等により、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。埼玉産は、9月の天候不順の影響で生育が遅れており、草勢が弱いことから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は生育の遅れも回復していくと見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		467.01	491 (105%)	532 (114%)	473.04	536 (113%)	・113t (81%)	徳島(30), 奈良 (15), 高知(15), 香 川(12)	平均価格	埼玉産、群馬産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	はくさい	40.32	71 (176%)	81 (201%)	64.18	87 (136%)	・3,120t (79%)	茨城(87)	平均価格	茨城産は、9月の天候不順による定植遅れにより小玉傾向となっていることに加え、実需の引きが強く前進出荷傾向だった影響や最近の気温の低下などから、引き続き平年より少なめの出荷となる見込み。			
		55.95	92 (164%)	98 (175%)	68.70	99 (144%)	・1,198t (81%)	茨城(19), 愛知 (19), 兵庫(15), 和 歌山(15)	平均価格	茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
	ほうれんそう	385.11	458 (119%)	469 (122%)	338.43	452 (134%)	・721t (113%)	群馬(29), 茨城 (24), 埼玉(18)	平均価格	群馬産は、天候に恵まれ生育は順調で、9月の天候不順の影響で生育の遅れていた分の出荷も始まつことから、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は遅れていた分の出荷も落ち着くことから、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。埼玉産は、天候に恵まれ生育は順調で、気温が高めで推移したため若干前進傾向となっているものの、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		461.74	489 (106%)	480 (104%)	375.38	462 (123%)	・236t (103%)	徳島(51), 福岡 (26), 群馬(9)	平均価格	引き続き、茨城産の出荷が平年より多め、埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、群馬産の出荷が平年並みに落ち着くと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			
果菜類	レタス (結球)	233.85	189 (81%)	185 (79%)	233.85	165 (71%)	・3,158t (129%)	静岡(29), 兵庫 (14), 香川(12), 長 崎(12)	平均価格	静岡産は、天候に恵まれ生育は順調で肥大も良好であることから、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は気温の低下が見込まれることから平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、生育は順調で気温が高めで推移したため前進出荷となっていることから、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は最近の冷え込みから平年並みの出荷の見込み。香川産は、12月の気温が高めでやや前進傾向となっていること、9月の天候不順により定植が遅れた分が出荷を迎えることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。			
		226.75	197 (87%)	178 (79%)	226.75	162 (71%)	・621t (102%)	兵庫(49), 徳島 (22), 長崎(10)	平均価格	香川産の出荷が平年より多めと見込まれ、静岡産及び兵庫産の出荷が平年並みに落ち着くと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みに近づくものの、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
	きゅうり	370.98	419 (113%)	460 (124%)	370.98	358 (97%)	・2,291t (98%)	宮崎(42), 高知 (20), 千葉(19)	平均価格	宮崎産は、12月の好天及び気温が高めに推移したことから、現在平年よりやや多めの出荷となっているものの、今後は成り疲れも予測されることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。高知産は、12月、1月と気温が高めで推移し、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		350.33	411 (117%)	436 (124%)	350.33	351 (100%)	・889t (93%)	宮崎(47), 高知 (21), 徳島(18)	平均価格	高知産の出荷が平年並みと見込まれるもの、宮崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。			
	トマト (大玉)	349.23	473 (135%)	446 (128%)	349.23	381 (109%)	・2,710t (96%)	熊本(44), 愛知 (15), 栃木(14)	平均価格	熊本産は、10月、11月の天候不順による日照不足の影響から、引き続きやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、9月、10月の天候不順の影響で作柄があまり良くなく、病害も散見され、早めに植え替えを行っている生産者がみられることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。			
		326.61	452 (138%)	431 (132%)	326.61	373 (114%)	・990t (110%)	熊本(73)	平均価格	熊本産、愛知産及び栃木産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。			
	なす	389.03	466 (120%)	452 (116%)	389.03	371 (95%)	・804t (98%)	高知(62), 福岡 (18)	平均価格	高知産は、12月の気温が高めに推移したため、やや前進出荷となっており、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、11月の気温の低下や日照不足の影響で草勢が弱いことから、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、12月上旬の好天により順調な生育となっていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。			
		397.74	454 (114%)	443 (111%)	397.74	357 (90%)	・288t (104%)	高知(37), 熊本 (29), 福岡(19)	平均価格	福岡産及び高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。			
	ピーマン	378.83	485 (128%)	492 (130%)	578.80	464 (80%)	・567t (120%)	宮崎(52), 高知(19), 鹿児島(18)	平均価格	宮崎産は、天候に恵まれ生育は順調であり、肥大も良好であることから、現在平年並みの出荷となっているものの、今後はさらに増量が見込まれ、平年より多めの出荷の見込み。高知産は、現在平年並みの出荷となっているが、9月の天候不順の影響により根張りが十分でなく草勢があまり良くないことから、10月の天候に恵まれ生育は概ね順調であるものの、今後は平年よりやや少なめの出荷の見込み。			
		371.29	467 (126%)	451 (121%)	565.30	377 (67%)	・326t (129%)	宮崎(48), 高知 (23), 鹿児島(14)	平均価格	高知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、宮崎産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
根菜類	だいこん	67.55	83 (123%)	86 (127%)	79.03	83 (105%)	・4,622t (92%)	神奈川(49), 千葉 (42)	平均価格	神奈川産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、12月は気温が高めに推移し、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。			
		76.48	84 (110%)	87 (114%)	80.47	80 (99%)	・1,900t (91%)	長崎(31), 徳島 (22), 鹿児島(22), 和歌山(21)	平均価格	神奈川産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。			
	にんじん	105.86	125 (118%)	139 (131%)	111.16	137 (123%)	・1,924t (74%)	千葉(86)	平均価格	千葉産は、9月の天候不順の影響から生育が回復してきたものの、11月の気温の低下により細物が多い状態が続いていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。			
		104.49	150 (144%)	143 (137%)	109.97	119 (108%)	・516t (86%)	鹿児島(41), 長崎 (40), 鳥取(10)	平均価格	千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。			

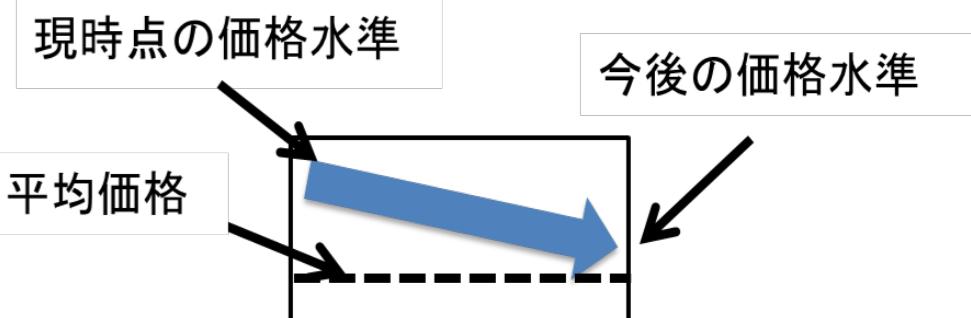
注: 1 平均価格は、過去6ヵ年(平成20~25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 別別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位はkg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 主産地は、東京都及び大阪市下中央卸売市場への出荷の多い県名。() 内は入荷シェアで平成27年実績である。
 5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報		1月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	1月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の1月下旬までの見通し				
	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額					主産地				
	中旬	下旬				上旬	平均価格			
いも類	さといも	220.97 (127%)	280 (130%)	228.85 (106%)	242 (84%)	埼玉(40), 千葉(29)				
	ばれいしょ	217.56 (132%)	287 (135%)	219.65 (128%)	282 (86%)	愛媛(65), 熊本(15)				
	ばれいしょ	96.99 (180%)	175 (179%)	96.99 (186%)	180 (68%)	北海道(61), 長崎(29)				
	ばれいしょ	96.99 (174%)	169 (169%)	96.99 (176%)	171 (94%)	北海道(65), 長崎(28)				

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

「図の見方」



注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

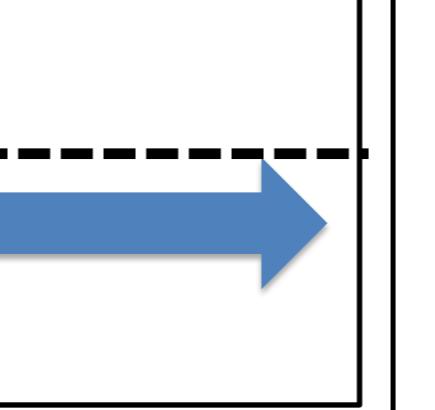
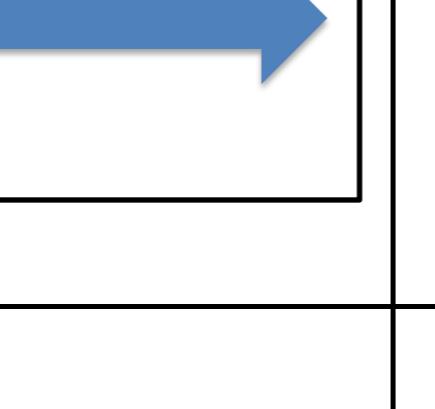
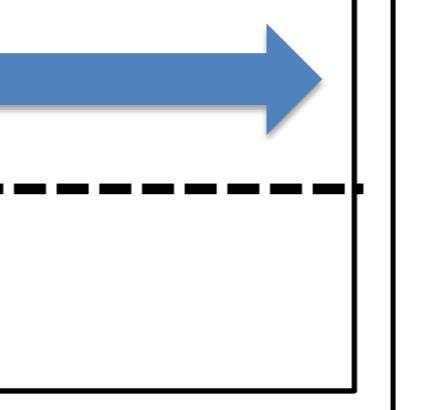
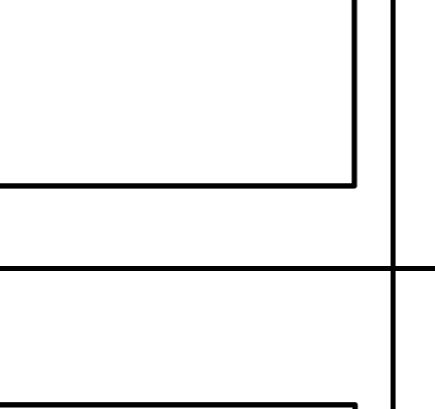
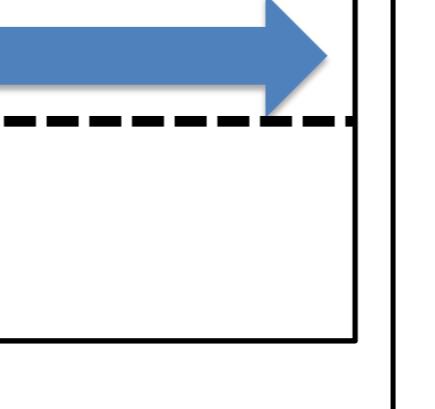
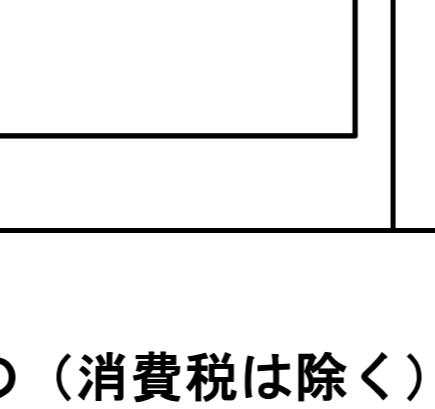
2 別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	12月の価格情報		1月 (参考)過去5カ年平均価格	1月上旬の東京及び大阪市場の別別価格 ()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	主産地	生育及び価格の1月下旬までの見通し				
	東京・大阪市場の別別価格					主産地				
	中旬	下旬				上旬	平均価格			
洋菜類	ブロッコリー	297.74 (151%)	450 (122%)	385.82 (78%)	301 (128%)	愛知(35), 香川(21), 埼玉(14)				
	ブロッコリー	340.20 (138%)	469 (101%)	417.58 (69%)	290 (95%)	徳島(35), 鳥取(13), 長崎(11)				
根菜類	ごぼう	272.73 (154%)	420 (166%)	318.13 (170%)	540 (94%)	青森(65), 茨城(16)				
	ごぼう	185.34 (160%)	296 (202%)	188.58 (154%)	291 (86%)	茨城(45), 青森(20)				
果菜類	かぶ	118.03 (116%)	137 (127%)	150 (109%)	152.86 (87%)	千葉(86)				
	かぶ	129.00 (137%)	177 (133%)	172 (125%)	137.79 (73%)	徳島(41), 福岡(28), 石川(16)				

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成23～27年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。

2 別別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/k gである。

3 別別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（ ）内は入荷シェアで平成27年実績である。

2 野菜の輸出入動向 一 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について 一

区分	1. 野菜の輸入数量				2. 野菜の輸出数量			
	平成26年 前年比	平成27年 前年比	平成28年11月 前年同月比	平成28年1月～11月 前年同期比	平成26年 前年比	平成27年 前年比	平成28年11月 前年同月比	平成28年1月～11月 前年同期比
生鮮野菜	884,735 104	826,845 93	83,540 162	784,272 103	9,573 98	22,992 240	2,512 92	26,271 171
加工野菜	1,786,655 96	1,753,545 98	155,206 106	1,608,720 100	7,857 76	9,510 121	1,151 131	9,932 117
野菜合計	2,671,390 99	2,580,390 97	238,746 120	2,392,992 101	17,429 88	32,502 186	3,664 102	36,204 152
うち中国産野菜合計	1,410,773 99	1,356,694 96	142,201 127	1,236,345 100				
中国産シェア	53	53	60	52				
1-1. 主な生鮮野菜の輸入先(平成28年11月)								
(単位:トン)								
	輸入合計	1位	2位	3位		輸出合計	1位	2位
	前年比	国名	数量	国名	数量	前年比	国名	数量
たまねぎ	23,068 128	中国	21,549	米国	1,508	韓国	12	
にんじん及びかぶ	14,172 275	中国	12,902	豪州	1,198	ニュージーランド	50	
キャベツ	8,888 318	中国	8,828	韓国	33	豪州	21	
ねぎ	5,939 153	中国	5,939					
ごぼう	5,668 131	中国	5,656	台湾	12			
かぼちゃ	5,083 121	メキシコ	2,868	ニカラグア(仮)	1,422	トンガ	760	
ジャンボピーマン	2,805 78	韓国	2,088	ニュージーランド	588	オランダ	129	
ブロッコリー	2,550 384	米国	2,521	中国	20	メキシコ	9	
1-2. 同輸入先(平成27年11月)								
(単位:トン)								
	輸入合計	1位	2位	3位		輸出合計	1位	2位
	前年比	国名	数量	国名	数量	前年比	国名	数量
たまねぎ	17,967 120	中国	17,230	米国	724	フランス	13	
にんじん及びかぶ	5,154 275	中国	4,917	豪州	211	米国	26	
キャベツ	2,791 1,000	中国	2,705	韓国	86			
ねぎ	3,887 1,000	中国	3,887					
ごぼう	4,314 1,000	中国	4,292	台湾	23			
かぼちゃ	4,211 1,000	メキシコ	1,667	トンガ	1,386	ニカラグア(仮)	1,148	
ジャンボピーマン	3,578 1,000	韓国	2,963	ニュージーランド	594	オランダ	21	
ブロッコリー	665 1,000	米国	476	中国	169	豪州	11	
資料：農畜産業振興機構「ベジ探」（原資料：財務省「貿易統計」）※四捨五入の関係上、合計と国別の数字は一致しないことがあります。								

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、松岡、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9448 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメールマガジンでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.aic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。

※無断転載禁ずる。レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。